

The 2 Chome Times 平成30年6月号

NO1のプレミアムストリートをめざして




NO241.

2018・6・25

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス6月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

 フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★第45回三宮センター街2丁目通常総会、無事終了しました

5月24日(木)、サンセンタープラザ6階で11時より、第45回センター街2丁目通常総会が行われ、この一年間の街の事業などについて報告され、混乱もなく例年通りスムーズに終了しました。冒頭の久利理事長の挨拶の中で「商品がネット上に溢れている中、私達の街においてどうやってその魅力を増していくのが大事で、震災後に始まった『ストリートミュージアム』計画が重要であり、そして沖縄・宮崎・高知などとの連携を強めて行き、児童養護施設の子供さん達を沖縄に招待するという社会貢献を通じて、街を総合的に魅力的なものにして行く事が次世代に繋がるものだ」と述べてお



られました。街が継続して行っている「街の美化活動」もこの「ストリートミュージアム」にとって重要であり、P.O.Bの皆様をお願いしている街の防犯も広域型の私達の街には欠かす事ができないものであるといった普段の活動報告の説明がなされました。実際にP.O.Bを代表してご臨席頂いた濱田義人部長による最近の案件の報告がなされ、窃盗などの現行犯逮捕の事案が紹介されるなど、まさに「今そこにある危機」が決して他所事ではない事が実感できました。もうすでに始まっている今年度の街創りも気を抜かないで遂行して行かなければと気を引き締めた総会でした。



★行ってきました3度目の豊田市美術館

4月24日(火)～7月16日(月、祝)の間、豊田市美術館で「画家一家150年の系譜、ブリューゲル展」が開催されています。先日雨の中行ってまいりました。今回は神戸より新たにできた新名神を通り、途中話題の宝塚北サービスエリアを体験して約3時間のドライブで目的地に到着。ゴールデンウィークの翌週でしたので、館内混雑はしていないと



予想していたのにもかかわらず、駐車場はほぼ満杯でやっと駐車する事が出来ました。やはり大盛況でした。16、17世紀のヨーロッパにおいて最も影響力を持った画家一族の一つであったブリューゲル一族。一族の祖であるピーテル・ブリューゲル1世は、現実世界を冷静に見つめ、人間の日常生活を何の偏見もなく、ありのままに表現した革新的な画家でした。この観察眼は子から孫、ひ孫へと受け継がれ、一族の絵画様式と伝統を築き上げていくこととなります。多くの作品の中でも私はピーテル・ブリューゲル1世の宗教画に特に感銘を受けました。ちなみに豊田市周辺はウナギ飯で有名なお店が



数件ありますが、美味しい食べ物に出会うのは旅の醍醐味であり、当然迷うことなく舌鼓を打って帰って参りました。近隣には日帰り入浴できる温泉施設もあり、ちょっとした小旅行気分ですリフレッシュした気分になって大満足で帰って参りました。

一族の作品を余すところなく観賞できる今回の展覧会と共に有意義な一日でした。是非お勧めです。

豊田市美術館 住所：・〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町 8 丁目 5-1

営業時間 通常 10:00～17:30 入場は 17:00 まで

定休日 月曜日 詳しくはホームページ <http://www.museum.toyota.aichi.jp/>まで

★どう対処しますか？ 帰宅困難者対策

18日の早朝に発生した大阪府北部を震源とする大きな地震には肝を冷やされました。公共交通機関がほぼストップし、多くの方が帰宅困難者となり、多大な負担を強いられました。こういった事案が起こりうる可能性が必然的だったため、平成26年6月には三宮駅周辺の事業者・団体で「三宮駅周辺地域帰宅困難者対策協議会」が設立され、帰宅困難者の安全確保や支援策について検討が行われきました。街の勉強会でもこの「帰宅困難者対策」の問題を扱っていた最中での地震発生でした。神戸市の危機管理室では「一斉帰宅抑制ガイドライン」という小冊子を作成しており、そのガイドラインは「大規模災害等により広域的に公共交通機関が停止し、膨大な帰宅困難者が発生した場合において、駅周辺に帰宅困難者等を集中させず地域の混乱を最低限に留めること」という目的に向けて、三宮駅周辺の全ての事業者が共助の観点から「何ができるか」を考えるための指針とするものです。神戸の花火大会の直後などの駅の混乱を体験したことがあります、その遥か何倍もの人々による混乱を想像するだけで寒気がしそうです。このガイドラインを手に入れた方は神戸市危機管理室（Tel.078-331-8181）までお問い合わせ下さい。



★ケーブルテレビ(ベイコム)の取材を受けました！

三宮センター街2丁目として参加している date.KOBE プロジェクトの PR で、ケーブルテレビのベイコム の取材を受けました。阪神電気鉄道が提供している『“たいせつ” がギュッと。阪神沿線』という番組で、リポーターはラジオ関西でもご活躍の田名部真理さん。案内は企画担当 毛利マークの藤井理事がしました。はじめに、2丁目振興組合の事務局で藤井理事の自己紹介と合わせて、街と date.KOBE の関わりを対談形式で聴いて頂いた後、ア



ートスクエア(いくたロード交差点)に移動して、ストリートミュージアムの縁結びの神さま、「ブルーニライ」を紹介しました。收藏式のときに出会った男女が結ばれたエピソードに田名部さんもとっても驚いていました。ケーブルテレビでの放送はすでに終了していますが、阪神電気鉄道のホームページおよび Youtube で観ることができます。ぜひご覧ください。

阪神電気鉄道のHP <http://www.hanshin.co.jp/area/ekibura/>

Youtube のリンク <https://youtu.be/pWRsQveSE78>

★編集後記

神戸の記念撮影スポットとして人気を集めているメリケンパークのモニュメント「BE KOBE」ですが、その人気ゆえに真っ白なはずのモニュメントに汚れが目立つようになって来ていました。インスタ映えを狙ったり、思い出の一枚の写真をと、少し危険ながらも観光客がモニュメントによじ登ってしまうためです。しかしながらこれに気づき、いち早く行動を起こしたのが、2丁目振興組合の藤井理事です。藤井理事は知人で神戸にロケ誘致を行う「神戸フィルムオフィス」の松下麻理さん（BE KOBE の誕生にも大きく携わられました）と二人で有志を募り、月に一度の割合で定期清掃をこの3月から始められました。センター街からそれ程離れていないとは言え、藤井さん達の神戸を想う純粋な気持ちと活動がさらに仲間を引きつけているのは確かです。毎月第1月曜の午前9時から1時間程度、清掃活動を行っていただけますので、どうぞ皆様も毎月ではなくても大丈夫ですから、参加してみませんか。申し込みの必要はないですし、スポンジと水仕事用の手袋だけお持ち下さい。お待ちしております！！

